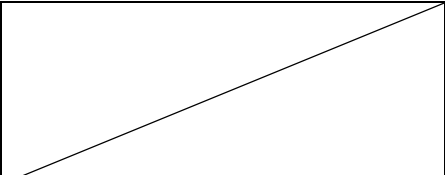


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・ 事業所 の特徴	『笑顔を導く応援団』を理念とし、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様の笑顔を導き出せるようチーム一丸となって運営している。 ひとり暮らし・高齢者世帯が多い地域性のなか、通い・訪問・泊まりサービスを組み合わせ、在宅維持に力を入れている。 地域行事や地域交流に積極的に参加し、利用者様の地域との繋がりが途切れないようサポートしている。
事業所名	小規模多機能ホーム ほたる熊川宿	管理者	藤井 浩一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各改善計画について、もっと具体的でわかりやすい項目を挙げ、職員間で共有し達成できるようにする。	年間の活動予定は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、思うような行事ができなかったが、利用者の思いに寄り添えるよう在宅生活のサポートを行っている。		職員間での情報共有を強化し、具体的な目標を掲げ、達成できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所を訪れるすべての人にとって居心地の良い、清潔な環境づくりを継続していく。	今年度においても季節に応じた作品等を作り、居心地の良い室内環境作りに努めた。アクリル板等で感染予防にも努めた。		事業所を訪れる方にとって居心地が良く、清潔な環境づくりを継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	行事等の案内を今以上に行い、多くの方に参加・来所して頂き、実際の様子を見てもらえるようにする。	行事は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となり、地域のボランティアの方との交流ができなかった。広報誌は年に4回発行し、地域の方に回覧した。		行事の開催については、感染予防を行い、地域の方との交流を継続出来る様、活動を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、敬老会や老人大会・ホテル観賞会等の地域行事へ参加する。サロンへも継続して参加していく。	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、地域の行事が中止や延期となり、参加はできなかった。地区サロンについては関わりを持つ事ができた。		感染予防を行いながら、参加可能な地域行事には参加する。地区サロンへも継続して参加・協力を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域での取り組みや、気がかりな方についての情報交換の場として運営推進会議を有効活用していく。	気がかりな方の情報をミーティング等で職員間の共有を行った。感染拡大に伴い、対面での会議を行う事ができなかった。(第2回、第3回)		地域での取り組みや、気がかりな方についての情報交換の場として運営推進会議を有効活用していく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練には継続して参加し、連携を強化していく。事業所の防災訓練にも地域の方の参加を呼びかけ、ともに消火訓練等を行う。</p>	<p>地区の職員の勤務体制上、参加はできなかった。ほたる熊川宿では、防災訓練については、年に2回は実施している。今年度については避難確保計画を作成した。</p>		<p>地域の防災訓練には積極的に参加し、顔の見える関係を構築していく。事業所の防災訓練にも地域の方々の参加を呼びかけを行っていく。</p>
----------------------------	---	--	---	---